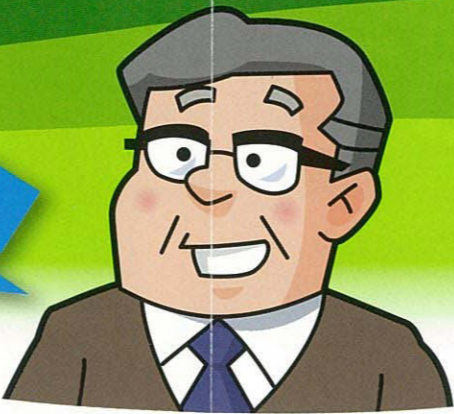


各項目にチェック✓を入れて、波及事故防止に役立てましょう。



キュービクル式高圧受電設備 (PF・S形)

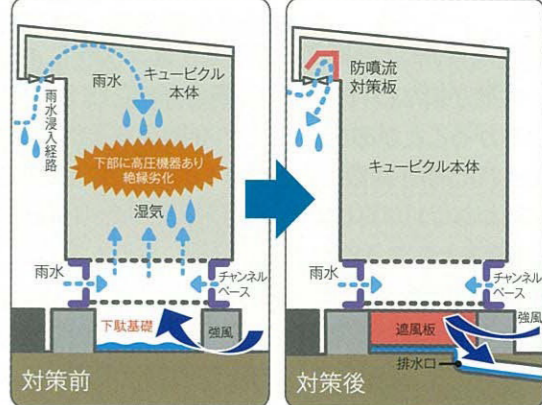
自然災害対策

6 暴風雨時の雨水浸入

点検 日常点検の際、キュービクル内に雨水が吹き込んだ形跡がないか、雨水が滞留していないか、確認しましょう。

対策

- 確認** 雨水が吹き込む危険性がある場合は、キュービクル前面の換気口に防噴流対策板や水平水切板を設置しましょう。
- 確認** キュービクル下部に雨水が滞留している場合は、排水口を設けたり、また下駄基礎で設置されている場合は、遮風板を取り付けるなどの対策が必要です。



換気口や通気孔、扉のすき間、腐食破損箇所などから雨水や湿気が浸入し、地絡や短絡事故が発生することがあります。また、キュービクルが下駄基礎で設置されている場合も、要注意です。

故意・過失対策

7 掘削によるケーブル損傷

掘削作業中に誤って地中ケーブルを損傷し、波及事故となることがあります。また、ビルや建物の改築工事などで、上下水道管やエアコンの配線を作業する際に誤ってケーブルを損傷してしまい、波及事故となることもあります。

対策

- 確認** ケーブルの埋設されている場所に標柱や標石を設置し、ケーブル埋設上部にはケーブル標識シートを敷設しましょう。
- 確認** 掘削工事を行う場合は、電気主任技術者と十分な打合せを行ってください。



自然災害対策

8 地震

地震による電気設備の被害に備えることは極めて重要です。東日本大震災においても、地震動による電気設備の破損が原因となって停電波及となった事例が報告されています。地震に強い受電設備にするために3つの対策をご紹介します。

対策

- キュービクル外箱の固定**
 - 確認** キュービクルの重量に見合ったサイズ・本数のアンカーボルトを基礎に堅固に固定しましょう。
- 変圧器などの重量機器の固定**
 - 確認** 変圧器などは、防振装置に適切な耐震ストッパを取り付けましょう。
- 変圧器への可とう導体等接続**
 - 確認** 変圧器の端子部と銅バーとの間に可とう導体・可とう性電線を挿入しましょう。

